

新型コロナウイルス感染症に関して、祈りのお願い

2020.03.15

世界が、不安に包まれています。

このたびの新型コロナウイルス感染症の脅威は、当初の想像をはるかに超えて拡大し、信仰生活をも揺さぶることとなりました。日本全地の教会も礼拝が脅かされるなど、今まで経験したことがないことが起こっています。

私たち相模原教会でも、ご自分の体調のことを思い、また高齢の家族にもしも感染させるようなことがあってはならないと、礼拝や集会や奉仕に来ることが出来なくなっている兄弟姉妹がたくさんおられます。

何人かの兄姉から、同じような話をうかがいました。それは、
「今まで当たり前のように、普通に礼拝に来ていたけれど、それが全く普通のことじゃなかったのだと、改めて感じています」。「普段礼拝を守りたくても守れない方の気持ちが、自分も礼拝に出席出来ない日に分かりました」。「礼拝に出られなかった日、心にチクリと罪責感があって…」。「仕方ないって分かっているのだけれど、なんだか、コロナとイエス様とを天秤にかけたような、後ろめたい気持ちになって」など。

私たちは今、礼拝に来られた者も、来られなかった者も、色々な思いを抱えさせられながら、受難節(レント)を過ごしています。これは私どもが、改めて信仰生活を問い直す時となっているのかも知れません。

集会を断念させられた諸会があります。一緒に集まって祈れないのです。だからこそ、ご自分が一人で祈る祈りの時間を、格別に大切に過ごしていきましょう。主日に教会に来られなかった方は、礼拝の時間に合わせて、水曜の夜には祈祷会の時間に合わせて、祈りの生活を取り戻しましょう。祈りの中で、それぞれが執り成し合い、霊的なつながり(交わり)を保ちましょう。さらに、ご自分のために、そして隣人のために、適切で必要な対応を取ることが出来

るように祈りましょう。感染した方々の回復と、この危機が一日も早く収束しますように祈りましょう。

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」 1 コリ 10 章 13 節

(牧師 辻川篤)

【相模原教会 幹事会より】

既に対応が行われていますが、引き続きご協力お願い致します。

- ① 主日礼拝は休みませんが、手指の消毒・手洗い、せきエチケットの徹底をお願い致します。受付対応は控えますので、玄関で出席者名簿に自著してください。
- ② 礼拝堂後ろのドアは、換気のため開放のままにします。
- ③ 8日の「午後の礼拝」と礼拝送迎タクシー、また「連絡係の愛餐会」は中止します。
- ④ 信仰の書を読む会、マナの会は3月中お休みとします。
- ⑤ 教会学校は、予定を繰り上げて春休みとします。
- ⑥ 附属相模白ゆり幼稚園は、春休みまで休園とします。
- ⑦ その他諸集会は、狭い部屋での開催を避けてください。
- ⑧ 諸集会で園舎を使用された方は、牧師までご連絡ください。夕方にアルコール除菌を致します。（既に園舎を使用された各会の兄姉ご自身で実施されています。感謝）
- ⑨ 食事の提供は、可能な限りお控えください。
- ⑩ 教団議長からの「**注意喚起**」に添って対応を進めています。教団から配布された文書を掲示板に貼りましたので、どうぞご覧ください。